

「東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社」の 設立について

1. 多様な人材の活躍推進に向けた当社の取り組み

- 電力小売全面自由化による競争の激化や、2020年4月に予定されている送配電部門の法的分離など、当社を取り巻く事業環境の変化に柔軟かつ的確に対応するためには、より強固な経営基盤の確立が必要
- こうした中、当社は従来から、当社成長の原動力は「従業員（人材）」であるとの基本的な考え方のもと、従業員がやりがいや働きがいを感じることができる環境の構築に努めてきたところ

多様な人材の活躍に向けた取り組み例

女性の活躍推進

女性ならではの感性・発想を業務に反映し、多様化するお客さまニーズなどへの対応力を強化

【取り組み例】

- ・ お客さま対応を行う部門などへの女性社員の積極的な配置
- ・ 仕事と家庭の両立に向けた支援制度の充実・整備

高年齢層の活用

当社の事業運営を支える技術・ノウハウを継承するため、高年齢層の経験や能力を積極的に活用

【取り組み例】

- ・ 定年退職者の再雇用制度の整備

中途採用の強化

高度かつ専門的なスキルを有する人材を積極的に採用し、お客さまへの提案活動の強化や、新たなビジネスモデルの構築などに活用

【取り組み例】

- ・ 省エネコンサルやトレーディングなどに関する専門的なスキルを有する人材の採用

障がい者の雇用

地域における障がい者の活躍機会の拡大や社会参加を支援するため、積極的な採用を実施

※当社で勤務する障がい者数は219名（2017年度末現在）

さらなる促進を実現

新会社「東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社」を設立

地域に“寄り添う”企業として、地域における障がい者の自立・社会参加を一層支援するとともに、ダイバーシティ（多様な人材の積極的な活用）の推進にもつなげていく

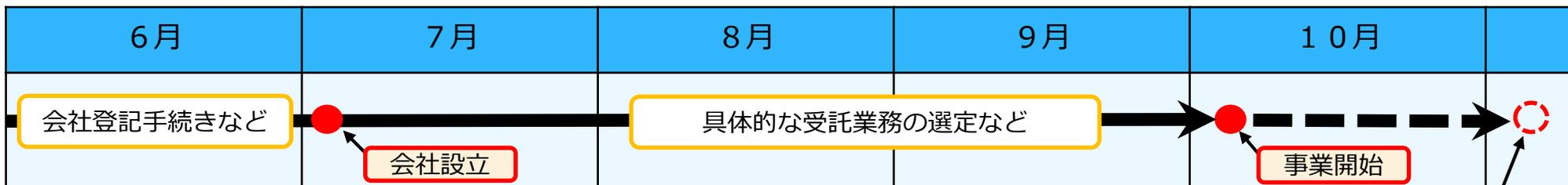
2. 新会社の概要と今後のスケジュール

- 新会社は、東北電力本店ビル内（仙台市）に設置し、資料・名刺の印刷やデータの入力など、定型的かつ反復性のあるオフィス業務を東北電力から受託することで、事業を運営（事業開始は2018年10月を予定）
- 新会社には、専任の指導者を配置することで、障がい者が安心して働きやすい環境を整備
- 当面の計画として、会社設立から1年後までに、10名程度の障がい者の雇用を目指す
※具体的な採用方法・採用スケジュール等については、新会社設立後に検討

【新会社の概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 会社名 | 東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社 |
| 所在地 | 宮城県仙台市青葉区本町一丁目7番1号（東北電力本店ビル内） |
| 設立日 | 2018年7月2日（予定） |
| 事業開始日 | 2018年10月（予定） |
| 事業内容 | オフィスサポート業務（名刺や資料の印刷、データの入力、書類のPDF化など） |
| 設立時資本 | 7,000万円（資本金：3,500万円、資本準備金：3,500万円） |
| 株主 | 東北電力株式会社 100% |

【今後のスケジュール】



【参考】特例子会社とは

障がい者の雇用に特別の配慮をした子会社のこと。認定を受けると、特例子会社に雇用されている労働者（障がい者）を、親会社に雇用されているとみなして、障がい者雇用率を算定することが可能

特例子会社認定申請